

留学先大学： University of Washington
 留学先での所属学部・研究科： Arts and Science
 留学先での在籍身分： Exchange
 留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 経済学部経済学科
 学年（出発時）： 2
 本報告書記入日： 2012 年 11 月 17 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

主にはUWのホームページから情報を集めていました。
 実際にUWに留学されていた先輩方からいただいたアドバイスも大変助かりました。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
 住居（寮，アパート）の名前： stevens court
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 5 分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

大学の周辺は街ようになっていて、何かが必要となれば何でも買い揃えることができるようになっています。レストランの方も充実しています。24時間オープンな図書館へのアクセスもいので、勉強したい時にすぐに図書館に行くことができます。大学構内にいくつかあるフィットネスセンターにもすぐに行ける距離にあるので、運動したいときにすぐにジムに行って運動することができます。ジムはマシンも充実しており、大変快適です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊をしています。
近くのスーパーマーケットでほとんど必要な野菜類は買い揃えることができます。日本食に関しては、バスで30分ほどのところにある字和島屋で手に入れています。すこし割高となっていますが、商品数は充実しています。自炊をするならば炊飯器を持っていくことをおすすめします。食器類については近くにある100円均一のところで割安に買い揃えることが可能です。自炊ができない場合でも、大学近くの街のほうにはレストランが充実していますし、大学構内にある食堂やカフェ、売店、サブウェイなど選択肢が充実しているので心配する必要はないかと思えます。ただ時間が経つにつれて日本食が恋しくなるので自炊ができるというかと思えます。学生寮を選ぶ際は、キッチンが共有なのか、広さはどれくらいなのかということを確認しておくことをおすすめします。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

- ・特にありません。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

いくつかの授業はadd codeが必要となってきたり、pre requisite などがあつたりして取れない授業がいくつかあります。どうしても取りたい授業があるけれども、何らかの理由で履修登録がうまくいかなかった場合は留学生担当の方にメールで連絡を取るか、教授の方に直接メールを送るか、実際に授業の初日に授業の方に向かって教授の方に相談に行くかしてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

当初予定していた科目とは全く違う科目をとることになりましたが、結果的には満足しています。実際に授業に出てみて、自分が想像していたものとは違っていたり、自分の語学力がつかいかなかったり、関心の芽先が変わってしまったたり、当初予定していた科目とは全く違う科目をとることになるかもしれませんが、気にせずに取り組んでほしいと思います。自分の場合は思いがけなくとった社会学の授業を通して現地の子供達と交流することになり、自分の視野が広がって今自分が専門的にこれから学んでいきたいと思うことを見つけるきっかけに変わっていききました。当初の計画とは履修科目が異なっても動揺せずに、取り組んでほしいと思います。履修登録科目がうまく自分と合わない場合を考えて、いろいろな科目を事前に確認しておくことをおすすめします。履修登録をやり直したいと思うのであれば手続きは早めに。一定期間が過ぎますと、別途料金がかかるようになっていきます。学期の半分（5週間）が過ぎると授業の選択をやり直すことが厳しくなってきます。新しい環境に適応するために時間が必要だということ、英語力がまだ足りないのだということ、授業の負担などを考えた上で慎重に履修登録を行ってください。最初の学期は、自分に余裕を残すためにも授業を取りすぎずしまわないことをおすすめします。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

| No. | コース名 | 教授名 | 時間数 /週 | 留学先 での単 位数 | 履修し ている 学生数 | 予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。 |
|-----|---|-----------------------|-----------|------------------|-------------------|---|
| 1 | ART H 260 Fashion,Nation, and Culture | Susan Gaylard | 3 コマ | 5 | 約100 | イタリアのファッションの歴史に関する授業です。リーディングは量は多いとは言えませんが、英語がたいへん高レベルでした。レクチャーもボイスレコーダーを持っていくようにアドバイスされるほどでした。テストの方は、歴史的な知識を確認することから始まり、背景知識と分析をどうつなげていくのかを問うような問題ばかりでした。レポートは2つ。一番負担が大きくてしんどい授業だったけれども、一番とってよかったと思える授業でした。 |
| 2 | SOC 292 Public School in America | Pitch Susan | 4 コマ | 5 | 1 3 1 | service learningの授業でした。HWが主催しているシアトルの子供たち教育をサポートしていくpipeline projectが授業の一部分として組み込まれており、学生は一学期最低20時間ボランティアとして現地の学校に出向きIAとして授業に参加します。レポートも小テストも自分の実際の経験をかきつけて書くようになっています。ボランティアとして現地の子供達と交流できたのは最高の経験だったし、プロジェクトを通してたくさんの子供と交流することができました。レポートは2つ。テストは選択肢の問題で中間試験は知るかぎり、問題が解けるのが分かって |
| 3 | EDUC 401 Practicum in Community Service | Stickler Christine | 20h | 2 | | 個人指導の授業でした。授業の内容としては現地の学校での20時間のボランティアワーク、2回先生とのミーティング、5-6ページのレポートを書くことでした。 |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

授業はしっかり構成されていて、テキストも教授が生徒に授業を通して何を伝えたいのか、ということが伝わってくるような内容になっています。しっかり予習して授業に臨みましょう。クラスのサイズは履修人数にかかわらず、クイズセッションが少人数で行われているので、人数が多すぎるからといって問題は感じませんでした。成績評価は交換留学生だから、アジア人だから、英語だから、といって甘く見てもらえるわけではないと感じています。公平に評価されています。周りの学生は必死に勉強しています。大学の構内はいつもどこか静かです。ワシントン大学の印象は努力家の集まる大学だということです。図書館はいつも人で溢れているし、大学が始まってから2週間しか経っていないのに学生は期末試験の前並みに勉強しています。授業に関しては、その内容について全く前提知識がなかったとしてもイントロのクラスから取って、努力していけば必ず成績が取れるような仕組みになっています。教授やTAの方も親切で、親身になって教えてもらえます。勉強は大変ですが、身につくし、努力のしがいがあるのを感じます。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------|----------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|---|
| 8:00 | | | | | | volunteer | |
| 9:00 | | | | | | work(9:0 | |
| 10:00 | | | | SOC 292 | | 0~13:00) | |
| 11:00 | | | | (9:30~10: | | | |
| 12:00 | SOC 292 | | SOC 292 | 20) | SOC 292 | | |
| 13:00 | (11:30~1 | volunteer | (11:30~1 | | (11:30~1 | | |
| 14:00 | 2:20) | work | 2:20) | | 2:20) | | |
| 15:00 | ART H | (14:30~1 | ART H | volunteer | ART H | | |
| 16:00 | 260 | 6:30) | 260 | work | (12:30~1 | | |
| 17:00 | (12:30~1 | | (12:30~1 | (14:30~1 | 3:20) | | |
| 18:00 | 3:50) | | 3:50) | 6:30) | | | |
| 19:00 | Hip Hop | | Hip | | | | |
| 20:00 | (17:30~1 | | Hop(17:3 | | | | |
| 21:00 | 8:30) | | 0~18:30) | | | | |
| 22:00 | | | | | | | |

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

UWは最高の留学先であったと感じています。

大学の雰囲気としては、真面目で努力家の学生が多い印象を受けました。図書館も24時間オープンで図書館があって勉強しやすい環境が整っていました。授業の形態としては、予習の段階で授業の内容を確認して講義の中で演習を通して理解を深めていきます。授業の特徴として挙げられるのは、生徒と教授と一緒に授業を作り上げていく感覚かと思います。積極的に質問やディスカッションが行われており、教授との関係もフラットで質問もしやすかったです。授業は実践的で教室の中だけにとどまらず、実際に現地の学校でボランティアをしたり、美術館に行って作品を鑑賞したりすることが授業の一環として組み込まれています。レポートも自分が実際に体験したことで講義の中で学んだことを組み合わせる書くようになっていきます。レポートをどのよう書けばいいかもサポートしてくれる制度が整っています。成績の評価に関しては公平に行われています。クイズセッションは週に一回、15人位の少人数制の授業で、TAの方が今週の授業で扱った内容について補足事項を確認していきます。小テストが行われる場合もあります。授業に関する連絡は基本的にEmailを通して行われています。内容についての授業もイントロの授業から取れば、それがたとえ自分の専門外であったとしても必ず講義内容を吸収できるようになっています。授業で使われている教材は教授が授業の内容に合わせて特別に編集されたものを使います。大変内容も濃く、印象深かったです。授業の選択肢も多いのでUWの特色かと思います。様々な関心を持った学生と交流できるのは大変貴重な経験となりました。自分は趣味のダンスを通じて、現地の学生と交流することができました。ルームメイトたちもダンス学科の学生で共通の趣味を持っていることもあって、友達が作りやすかったです。来学期はダンスの授業を一つとろうかと考えています。

キャンパスの近くにもダンススタジオがいくつかあり、ダンスを通じて友達を作ることができました。留学が始まってから、体力の大切さを改めて感じる機会が多くありました。留学生活は楽しいことよりも悲しいことや辛いことのほうが多いと感じました。それでもなんとか乗り越えられてきたのはダンスを通して体力をつけていたからだだと思います。留学前は、もう何をしたいのやら全くわからなくなるかと思いますが、是非スポーツをするなどして体を鍛えておくことをおすすめします。

学生寮に関しては、快適で過ごしやすかったです。キャンパス内に学生寮があるため、どの施設へものアクセスがしやすく便利でした。学生寮を選ぶ際は、キッチンがあるのかどうか、学生寮の近くにはどういった施設があるのか、教室からは近いのか、自分が利用したい施設との距離はどれくらいなのか、自分のニーズを考えて慎重に選ぶといいかと思います。stevensは広いキッチンがあるため、自炊したい学生にはオススメです。ほかの学生寮も大変綺麗で快適だという話を聞いております。IMAと呼ばれる学内で一番大きいジムは、マシンも充実しており各種スポーツを友達と楽しめるようになっています。様々なクラスも開講されているので、是非興味のあるクラスがあればとってみることをおすすめします。自分はHIPHOPの授業を週2回とっていました。会費も一学期\$35で、クラスのレベルとしても初心者でもついていけるような設定になっていて楽しんで参加することができました。友達も作りやすいので、是非利用されるといいかと思います。

留学先としてアメリカを選んで良かったと思います。文化的にも、様々な国から人が集まって出来た移民の国なので自分が外国人であるということをあまり気にすることなく生活していくことができました。言葉に関しても、英語が全ての人の母語ではないことをみんなが理解してくれていたため、たとえ言葉ができなくても自分の言いたいことを汲み取ろうとしてくれた人が多く、ありがたさを感じました。国民の多様性が何か問題を引き起こしていても、肯定的に捉え、多様性を誇りにしている人が多いことに気がつくたびにアメリカに来て良かったと感じます。またその人の文化的背景がどういったものにかかわらず、実力さえあれば公平に認めてもらえる余地の残されているところは本当に素晴らしいと感じました。インターンシップにも参加できる機会が多く提供されているので、自分の興味のある団体の方でインターンシップに参加することも可能です。ボランティアの機会も多くあるので積極的に参加してみようことをおすすめします。

留学してから多くの問題に向き合うこととなりました。最初はしんどくて仕方ありませんでした。しかし苦しいと思うたびに強くなると、辛いことをバネにして乗り越えてきました。そうするうちに自分がだんだんと強くなってきて、何か問題にぶつかったとしても落ち着いて行動することができるようになりました。日本にいたときには当たり前過ぎてわからなかったことの大切さについて考え直すいい機会ともなりました。海外で生活しないとわからないような問題意識を持つことができました。またこちらの大学で偶然取った社会学の授業を通じて、現地のベトナムからの移民の子供達との交流することができ、将来の選択を考える上で大変貴重な経験となりました。留学するか悩んでいる学生の方も多いかと思いますが、辛いことをちゃんと自分なりに乗り越えてこちらの生活を楽しむことができるようになれば必ず人として大きく成長できるかと思っています。留学は楽しいことよりも辛いことのほうが多いかと思いますが、留学前の手続きも、ビザの申請も面倒なことが多いかと思いますが、しかしだからこそ、私は留学することに意味があると思うし、留学は必ず人を成長させてくれます。特にUWは留学生への支援もしっかりしており、留学先としては最高の選択肢のうちの一つではないかと思っています。

最後にこれから留学を考えていらっしゃる学生の方に少しでも私のレポートが役に立てればと思います。みなさんが最高の決断を出来ること、心から祈ります。